

子どもと共に

一年間、ありがとうございました。

卒業式・修業式

3月15日、3年生4名が中中を旅立ちました。



卒業式

校長式辞から

先ほど卒業証書を手にされた誇り高き

四名の卒業生の皆さん、ご卒業、本当におめでとうございませう。皆さん四名を加え、これで7282名がこの学び舎、中島中学校を巣立ったこととなります。

四月当初、校長として赴任したばかりの私の不安をかき消してくれたのは、紛れもなく三年生四名の覇気ある挨拶、立ち振る舞いでした。皆さんの存在が、学校全体の雰囲気を作るべく、心安らぐ場にしてくれ、私自身と

発行人
中島中学校
校長 長野 真太郎
松山市長師 817
997-0204

でも安心できました。改めて、ありがとうございます。感謝の気持ち一杯です。

思い返せば、令和二年三月に突然、学校が臨時休業となり、未曾有の事態の中で小学六年生として一年間を過ごし、中中へ入学、コロナ禍における不安とともにマスクの着用が義務付けられた中学校生活、中三の五月に新型コロナウイルス感染症が五類に移行したことを受けて、やっと徐々に日常を取り戻せ始めたこの一年・・・生徒教員合計七名で行った家族旅行のよいうな修学旅行、小中合同一期生として九

年目の大役を果たした運動会、体験入学プロジェクトシヨマツピングとアロマのクラブ、四年ぶりに開催したトライアスロン中島大会及び前夜祭、俳句集会・ジュニア俳句甲子園、卓球及び陸上競技総体、RNBこども音楽コンクール、面接練習等・・・二年次も含めれば、職場体験活動、群読コンクール等・・・数え切れないほどの足跡を皆さんは残してきましたね。その一つ一つの思い出、経験を通して、自慢の中学生として、一人一人がここまで成長してくれました。その頑張りに対し、喜びと感謝の気持ち一杯です。ありがとう。これからも、皆

さんの成長が更に楽しみの仕方ありません。そんな皆さんの門出に贈りたい言葉が二つあります。皆さんも知っているかと思いますが、先日、アニメファンならずとも日本人として誇らしいニュースが流れましたね。宮崎駿氏のジブリ映画「君たちはどう生きるか」がアメリカにおける第96回アカデミー賞長編アニメーション賞を受賞しました。この映画をまだ見ていない私ですが、映画において、主人公の「母の形見」として、ちらっ

時代背景は90年近く前の昭和12年、15歳の主人公コペルくんこと本田潤一さんが、身近に起こる様々な出来事や「叔父さん」との対話の中で、自らの疑問や内なる葛藤、失敗を成長につなげ、自己決定していく姿が描かれています。これを読んだとき、「どう生きるか」の問いに対する答えとして、私の頭に浮かび上がったきた、書道家相田みつを氏の言葉をまず皆さんに贈ります。

志で、前向きに突き進んでいってください。二つ目は、大谷翔平選手が高校三年時に書いた「人生設計シート」の一節です。これは彼自身が将来を「どう生きるか」真剣に考え、年齢別の明確な目標を書き記したものです。27歳でWBC日本代表 MVPと書いた目標は、「存じのとおり昨年28歳で達成しています。そこには、70歳辺りまで目標が書きつづられていくのですが、そのシートの中の書かれてある言葉を二つ目の言葉として贈ります。

『人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。』世界のスーパースタ

『人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。』世界のスーパースタ

『人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。』世界のスーパースタ

『人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ。』世界のスーパースタ

―大谷翔平選手が、まさに十代において夢を抱き、その実現に向け、一步一歩前進、挑戦し続けている姿を、皆さんの前途に重ね、それぞれの進んでいく道を、私たち全員、全力で応援したいと心から思っています。

保護者の皆様、大切なお子さまのご卒業、本当におめでとうございませう我々、中教職員、皆様のご期待にどれだけお答えできたか分かりませんが、本校教育活動に対し、いつも温かくご支援、ご協力いただきましたことに心から感謝申し上げます。これから先も、どんなに成長されましても、我が子は我が子、いつまでも気苦労が絶えま

せんが、どうぞ、広く大きな心で支え導き、見守っていただきますようお願いいたします。

ご来賓の皆様、ご多用の中お越しいただき、誠にありがとうございます。地域の皆様が手塩にかけて支え育ててくださった四人が、このように立派に巣立っていきます。これもひとえに、地域の皆様方のご支援の賜物であります。今後とも、温かいお声掛けやご厚情を頂きますようお願い申し上げます。結びに当たり、改めて、卒業生に問います。

『これから、君たちはどう生きていきますか』
各々の決意を胸に前進、挑戦し続ける

四名の将来が、希望と笑顔、幸せで満ちあふれますことと、ご臨席の皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

旅立ちの風景

たくさん学びを得た、この中島中学校を卒業します。振り返ると、三年間の思い出がよみがえってきます。

期待と不安を抱え入学した一年生。新しい環境の中で、先輩方に引つ張ってもらいながら、目の前のことに全力で取り組みました。

少年の日を迎え、大人への第一歩を踏み出した二年生。群読やバンドなど新たなことに挑戦し、自

分自身と改めて向き合うことで、自信を持って行動する大切さを学びました。

そして迎えた三年生。修学旅行では、関西の歴史や文化を実際に見ることで、教科書とは違う迫力と歴史を感じることもできました。四人だけで京都の町を回ったことも、いい経験になりました。

最高学年として後輩を引っ張ろうと頑張った小中合同運動会。中ソーランと応援合戦では、今まで支えてくださった方々に私たちの覇気を伝えようと全力でやり切りました。

最高学年としての自覚を持ち、何事も一生懸命取り組むことができました。どんな困難なことがあっても、四人で協力し合うことで仲間との大切さを実感しました。

あっても、四人で協力し合うことで仲間との大切さを実感しました。

この三年間様々なことに挑戦することができたのは、先生方、家族、何より仲間のおかげです。先生方、家族、何より仲間のおかげです。先生方、家族、何より仲間のおかげです。

運動会や文化祭などを成功させるためにどんなときも必死についてきてくれてありがとう。私たちが受け継いだ覇気が、中中の伝統を引き継いでいってください。応援しています。

地域の皆さん。登下校や学校行事の時など、いつも温かく見守ってくださいありがとうございます。おかげさまで安心して学校生活を送ることができました。

今までの皆さんの支えがあったおかげでいろいろな体験や挑戦をすることができました。高校では、ボランティア

をを通して支えてくださった方に恩返しをしていきたいです。

この三年間様々なことに挑戦することができたのは、先生方、家族、何より仲間のおかげです。先生方、家族、何より仲間のおかげです。

決めた夢をかなえられるように一生懸命努力し、挑戦し続けたいです。

家族、先生方、地域の方々など、たくさんの方が支えてくださったおかげで、三年間充実した学校生活を送ることができました。高校では、

中学校での経験を活かして、何事にも積極的にチャレンジしていきます。

今までついてきてくれた後輩、慣れない環境の中、一から支えてきてくださった先生・地域の方々、本当にありがとうございます。

15年間優しく、時には厳しく育ててくれてありがとう。家族には感謝しきれないほどたくさんの方面で支えてもらいました。辛いときにはそっと寄り添って話を聞いてくれる。そんな家族のおかげで今もずっと幸せに生活できています。これから健康に気を付けて長生きしてください。

家族のみんな

15年間優しく、時には厳しく育ててくれてありがとう。家族には感謝しきれないほどたくさんの方面で支えてもらいました。辛いときにはそっと寄り添って話を聞いてくれる。そんな家族のおかげで今もずっと幸せに生活できています。これから健康に気を付けて長生きしてください。

今までいろいろな場面を支えてくれてありがとう。おかげでここまで成長する

今までいろいろな場面を支えてくれてありがとう。おかげでここまで成長する

ことができました。悩んだ時には、いつも親身になって話を聞いてくれてありがとう。本当に頼もしかったです。これからも迷惑を掛けるかもしれないけれど、これまで以上にたくさん恩を返すので、いつでも頼ってください。

いつもたくさんの場面で私を支えてくれてありがとう。親身になって話を聞いてくれたり、励ましてくれたりしてあり

がどう。家族の支えがあったから、つらいことも頑張ることができました。これからもたくさん迷惑を掛けるかもしれないけれど、今度は私が家族を支えられるよう頑張ります。

お父さん、お母さん。

ん。いつも一生懸命働いてくれたり、ご飯や洗濯など家事を頑張ってくれたりしてありがとう。イライラして言い合いになることもあったけれど、僕のために叱ってくれたこと、感謝しています。これからもたくさん迷惑をかけると思うけど、少しでも親孝行できるように頑張るので見守っていてください。

私たちはそれぞれの道を歩み始めます。中学校で過ごした日々の思い出は一生忘れません。

今まで本当にありがとうございました。



修業式

中島での挑戦

一年 愛紗尼

中島中学校に入学して、あつという間に一年がたとうとしています。入学する前は、新しい生活が楽しみな反面、新しい環境や友達関係、寮生活など、不安なこともたくさんありました。でも今は、中島中学校に入学して本当に良かったと思っています。新しい人間関係を築き、皆と仲良くなれていることがとてもうれしいです。

は自分に自信がなく、意見を言うことができませんでした。でも、寮で身の周りのことを自分でしたり、少人数の中で少しずつ意見を言ったりしていくうちに、自分に自信が持てるようになってきました。生徒会役員にも挑戦しました。生徒会では、私が提案した全校給食が実現しました。笑顔あふれる全校給食の時間がとてもうれしく、公約を果たすことができました。一方で、より良い学校にするために、もっとできることがあります。次は、生徒会役員ではないですが、中学生の一員として、より良い学校にできるように

協力していきたくです。四月からは、先輩になります。私が目指す先輩は、やるべきことをきちんとやり、信頼される先輩です。話し掛けやすい雰囲気づくりをし、積極的に声を掛けていきたいです。今までの先輩方のように、後輩にかっこいい背中を見せられるよう、精一杯頑張ります。明日から春休みが始まります。寮での生活リズムを崩さないように生活したいです。学習面では、一年生で不十分だったところを復習し、二年生で良いスタートが切れるようにします。普段なかなか一緒に過ごすことができない家族との時間を大切にし、有意義な春休みを過ごし

ます。私にとつて、この一年間で最も思い出深い出来事が、少年の日記念集会です。私は書道パフォーダンス係として、書道パフォーダンスのデザイン作成や準備を担当しました。デザインを決めるために学級で行った最初の話し合いでは、みんなの意見がバラバラで、大きく書くつもりで、小さく書くところから、時間をかけ学級で何度も話し合いを重ね、ようやく決まったのが「結(ゆい)」という一文字でした。この「結」には、「私たち二年生一

尊敬される中学生になるために

一年 七海

一人の絆をより強く結んでいきたい」「最高の結果を目指して努力したい」「その努力がいつか実を結ぶはずだ」といったようにたくさん思いが込められています。これまで、自分たちだけで何かを考え計画し、作り出す経験はありませんでした。実際、良いアイデアが出ず行き詰まったり、意見が食い違った、もめたりしました。それでも、何とかやっていけたのは、同じ学級のみならず、仲間と助け合ったことのおかげです。意見を出し合い、支え合い、お互いカバーし合うことで、ようやく完成させることができました。大変なことをみんなと乗り越え、

仲間との信頼が生まれてきたように感じます。記念行事当日、二年生はたった十人と、三年生として今までも緊張しました。しかし、仲間を信頼していたからこそ、様々な方々やふるさと中島への感謝の思い、少年の日を迎える自分の決意を歌声や言葉に乗せ、精一杯伝えられたのだと思います。私は、この少年の日記念集会に関わるたくさんの経験を通して、仲間と助け合うことの大切さ、自分に与えられた責任を全うする大切さを身をもって知ることができました。そして、全てやり遂げた後には、自分の成長を実感できました。

四月からは最高学年となり、常に先輩として自覚ある行動が求められるようになります。だから、三年生として今以上に勉学や部活動などに励んでいきます。先輩としての責任を果たすこと。うまくいかないことがあれば仲間と支え合うこと。少年の日記念集会から得られたこれらの学びを胸に、後輩から尊敬される中学生になれるよう、さらに努力していきま

